

自動圧力コントロールシステム



RSN シリーズ

セルフコンテインド型
コントローラー内蔵スロットルバルブ

RSシリーズのノウハウを引き継ぎ、
最新の電子デバイスで再設計しました。

概要

RSNシリーズ自動圧力コントロールシステムは、スロットルバルブにデジタルPID、マイクロプロセッサ、駆動回路及び通信機能などの電子回路を内蔵した一体型排気速度コントロールシステムです。すべての操作はRS-232通信で行う事ができ、装置側のホストCPUによって圧力制御やスロットル弁の開度制御が可能です。またこれらの制御に必要な各種パラメーターやバルブの開閉などもCPUで操作します。またマニュアル操作もできるので、装置の立ち上げ時やメンテナンス時にCPUを中継せずバルブの開閉ができます。RS-232通信機能を持たない装置に付いては外部アナログ電圧による設定をも可能です。バルブはダイレクトドライブ機構方式で、構造が簡単で部品点数も少なく信頼性を向上させています。バルブの種類はJIS、ICFなど、サイズも1インチから20インチ(6インチ以上はウイング型)をカバーします。

特徴

- デジタルPIDによるインテリジェンス制御方式
- RS232インターフェイスとアナログ制御を標準仕様
- スロットルバルブとコントローラーを一体化した省スペースAPC
- 装置のメンテナンス時に便利なマニュアル操作機能と自己診断機能
- 機械的信頼性を重視したシンプルなバルブ機構
- バイパスラインが不要になる低リークタイプ
- ウイング型も供給可能
- フランジ規格、サイズとも各種対応

仕様

- 電源入力 : $\pm 15\text{VDC}$ @500mA
- 圧力計電源出力 : $\pm 15\text{VDC}$ @250mA
- 圧力計信号入力 : 0 - 10VDC
- RS232 インターフェイス: PID パラメータ設定
圧力設定 / 開度設定
バルブ開 / 閉 / 保持
圧力計ゼロ校正 / 開度校正
自己診断機能
- パラレルインターフェイス : 圧力 / 開度設定(切換)
バルブ開 / 閉 / 保持
- 外部設定入力 : 0 - 10VDC(圧力)
0 - 9VDC(開度)



フジインバック株式会社

神奈川県横浜市磯子区東町6-18

Tel 045-755-2261 Fax 045-755-2282

URL <http://www.fuji-imvac.co.jp>

自動圧力コントロールシステム



ウイングバルブ シリーズ RS/AVR タイプ

薄型
大口徑
複数弁スロットル弁

概要

大口徑スロットルバルブ・ウイングシリーズは、大排気量プロセス用の排気系スロットリングバルブとして開発されました。大口徑ながらウイングを複数枚にすることで全開時の配管スペースを省略することができ、これにより同径のバタフライ型に比べてコンダクタンスを3倍にすることができます。全閉時にはウイング同士が重なり合うことで、最小のコンダクタンスになります。またウイングのドライブ機構はシンプルでワイヤーなどは使用せず、ガス溜りもありません。ウイングの枚数は口径によって異なりますが、排気ダクトのデッドスペースを利用した2枚ウイングや、下流側が完全フラットになるものなど、用途に合わせた選択が可能です。これにより、ウイングバルブ/ゲートバルブ/ターボ分子ポンプを変換アダプターなく重ねあわせることができるため、大幅な省スペースが実現できます。コントローラーは APN30のキャビネット型、RSシリーズのバルブ一体型があります。

特徴

- **シンプルな構造**
メンテナンス性、信頼性を重視した構造で、ガス溜りがありません
- **省スペース**
全開時のための配管が不要で、ウイングバルブ自身の厚さ(30 - 50mm)で構成できます。
- **広いダイナミックレンジ**
全閉時にウイング同士を重ねあわせることにより、最小コンダクタンスを実現します。
- **均一な排気効果**
シンメトリックなウイングの動きは、全域にわたり均一な排気効果が得られます
- **設置に便利な2種類のタイプ**
RSタイプ;コントローラー一体型
AVRタイプ;省スペースのコントローラ分離型

APN30 コントロールユニット

